

※押印は不要です。押印がある場合は受付いたしません。

第六号の二書式（第二十条の三関係）（A4）

記入例

建築士法第 23 条の 6 の規定による 設計等の業務に関する報告書

（第一面）

建築士法第 23 条の 6 の規定により、設計等の業務に関する報告書を提出します。
この報告書の記載事項は事実と相違ありません。

毎事業年度経過後（決算日から）3 ヶ月
以内に提出してください。

徳島県知事 殿

令和〇〇年 〇月 〇日

一 級
二 級 建築士事務所 徳島県知事登録 第〇〇〇〇〇号
木 造

事務所名 徳島建設一級建築士事務所

所 在 地 徳島県徳島市幸町 3 丁目 5 5 番地 自治会館 2 階

電 話 （088）652－5862 番

建築士事務所の 徳島建設株式会社
開設者の氏名又は名称 代表取締役 阿波 太郎

（今回提出する報告書）

事業開始年月日 令和 〇〇年 〇月 〇日 から

事業終了年月日 令和 〇〇年 〇月 〇〇日 まで
（決 算 口）

※今回報告する事業年度の期間を記載し
てください。

〔記入注意〕 建築士事務所の開設者が法人である場合には、法人の代表者の氏名も併
せて記載すること。

(第二面)

建築士事務所の業務の実績

〔記入注意〕

- | | | | | |
|---|------------------------------|-----------|-------------------------|------------------|
| 1 | 当該事業年度における直近のものから順次記入してください。 | | | |
| 2 | [例] | 鉄筋コンクリート造 | 設計及び | 2007. 2. 1 |
| | 徳島県 | 共同住宅 | 5階建延 700 m ² | 工事監理 2007. 10. 3 |

[illegible]

所 属 建 築 士 名 簿

フリガナ 氏 名	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別及び管理建築士である場合にあつては、その旨	登 録 番 号	登録を受けた都道府県名（二級建築士又は木造建築士の場合）	建築士法第22条の2第1号から第3号までに定める講習のうち直近のものを受けた年月日	構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士である場合にあつては、その旨	構造設計一級建築士証又は設備設計一級建築士証の交付番号	建築士法第22条の2第4号及び第5号に定める講習のうちそれぞれ直近のものを受けた年月日
トクシマ ハナコ 徳島 花子	管理建築士 一級建築士	〇〇〇〇		令和〇〇年 〇月〇〇日	構造設計 一級建築士	●●●●●●	▲▲年▲月 ▲日
シク サブロウ 四国 三郎	一級建築士	△△△△		令和〇〇年 〇月〇〇日			
ケンチク ジロウ 建築 次郎	二級建築士	□□□	徳島県	令和〇〇年			
・ 当該事業年度において所属する建築士を、管理建築士を含め全員を記載してください。 ・ 資格を持っていても、経営などに専念し、設計・工事監理等の業務を行わない場合は記載の必要はございません。 ・ この名簿に登録されている建築士は、法第22条の2の規定により、3年ごとの定期講習の受講が義務づけられています。							
・ 一級、二級、木造建築士免許を複数所持している方は、上位免許の集計欄にのみ記載してください。 ・ 構造設計一級建築士免許、設備設計一級建築士免許を所有している方は、重ねて記載してください。							
計 3 名			一級建築士	2	名		
			二級建築士	1	名		
			木造建築士		名		
			構造設計一級建築士	1	名		
			設備設計一級建築士		名		

(第四面)

所属建築士の業務の実績

〔記入注意〕

1 所属建築士の当該事業年度における業務の実績を、当該建築士事務所におけるものに限って、直近のものから順次記入してください。

2 [例]

2	[例]			鉄筋コンクリート造	設計及び	2007. 2. 1
徳島	太郎	徳島県	共同住宅	5階建延 700 m ²	工事監理	2007. 10. 3

所 属 建 築 士 の氏名	建築物所在 地都道府県	建築物の用途	構造及び規模	業務内容	期 間
徳島 花子	徳島県	住 宅	木造 2階建延べ150㎡	設計及び 工事監理	〇〇〇〇.〇.〇～ 〇〇〇〇.〇.〇
四国 三郎	徳島県	倉 庫	鉄骨造 平屋建延べ300㎡	設計	△△△△.△.△～ △△△△.△.△
建築 次郎	徳島県	倉 庫	鉄骨造 平屋建延べ300㎡	設計	△△△△.△.△～ △△△△.△.△
・（第二面）建築士事務所の業務の実績に記載した業務について、漏れのないよう記載してください。 ・当該事業年度における実績を、最近のものから順次、全て記入してください。 ・当該事業年度に業務実績がない場合は「該当なし」と記入してください。 ・物件名や建物名称などの建物等が特定できる文言は記入しないでください。記入が有る場合は受付いたしません。					

(第五面)

管理建築士による意見の概要

[記入注意]

当該事業年度における直近のものから順次記入してください。

[illegible]